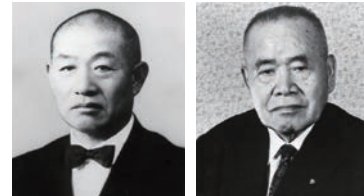


フジタのあゆみと事業

1869～ 近代化を目指し インフラ整備に尽力

- 1869年** 初代 野村専太郎が新宿で「野村組」を創業(大和小田急建設)
- 1910年** 藤田一郎・定市の兄弟が広島市で土木・建築請負業を創業(フジタ)

明治維新直後の1869年、薦職であった初代・野村専太郎が、新宿に「野村組」を創業。新時代到来による建設ラッシュで、事業規模を拡大(大和小田急建設)。1910年、兄・藤田一郎と弟・定市によるブラザーズカンパニーとして広島市で土木・建築請負業を創業。その後事業を広島、九州、全国へと拡大(フジタ)。



藤田一郎 (兄)

藤田定市 (弟)

1945～ 戦後の復興 高度経済成長を支える

原爆投下直後の広島、そして空襲で打撃を受けた新宿、それぞれの復興・再建に従事し、国の再生に尽力しました。1962年には海外事業の先駆けとして南米調査団を派遣。その後、中南米、グアム、米国、台湾、韓国、中東へ展開し、海外事業を拡大しました。



当社が復旧を行なった
広島日赤病院

1970～ 建設業からの飛躍 暮らしやすいまち・環境づくり

都市開発事業を強化。郊外型複合施設「広島アルパーク」や31階の超高層ビルを含む本格的な大型民活事業「大宮ソニックシティ」などを手がけ、「まちづくりのフジタ」を印象づけました。また、建設業界では初めてとなる環境専任部署「地球環境室」を設置し、技術力を強みに環境問題への取り組みを始めました。



広島アルパーク

2000～ 新技術開発で災害などに 備え未来をつくる

相次ぐ自然災害の復旧・復興工事に従事し、防災技術の開発・改良を重ねています。また、インフラの維持・更新や環境負荷低減、建設業の担い手不足など多様化する社会課題と建設ニーズに対し、高い品質と技術力で応え、サステナブルな社会の実現に取り組んでいます。



大和ハウスグループ
みらい価値共創センター

沿革
<https://www.fujita.co.jp/company/history/>



事業紹介
<https://www.fujita.co.jp/business/>



プロジェクトストーリー Fujita Leads
https://www.fujita.co.jp/fujita_leads/



建築事業



ロジクロス座間(2023年竣工)

お客さまのニーズに合った施設を、適確な企画・提案、最適で合理的な設計、長年の技術開発に裏付けられた施工技術でご提供します。建物の建設のみならず、その後の維持・管理までも一貫して行える体制を構築しています。

土木事業



東海環状自動車道 山県インターチェンジ(2023年竣工)

道路の建設や土地の造成などといった新たにつくり出すインフラ整備工事から、災害に備えた耐震補強や改修工事、構造物の撤去など時代のニーズにお応えします。安全・安心な暮らしの土台をつくるため、最新技術の活用を進めるほか、独自技術の開発を行なっています。

100年のあゆみから
生まれた4つの事業

フジタの
実績・技術力

大和ハウス
グループの
事業力

まちづくり事業



DPL兵庫川西(2023年竣工)

建設技術を基盤とする企画提案、開発計画の立案、地権者の合意形成と権利調整。さまざまな事業手法と許認可などの専門知識を駆使するノウハウを用いて、お客さまの資産価値・企業価値の向上に寄与します。

海外事業



エチオピアTICAD産業人材育成センター(2023年竣工)

海外進出を計画するお客さまに向け、事業戦略の要となる工場や物流・営業拠点の建築を短期間かつ高品質で実現します。国やエリアで異なるビジネス環境・気候・文化などに精通した現地スタッフがお客さまの海外戦略に合わせて最適なプランをご提供します。